

「第6回ELN研究会」の開催について（御案内）

主催：ELN研究会

共催：創薬情報研究会

春陽の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当ELN研究会も、皆様のお陰をもちまして、発起から6年目を迎えることとなりました。ELNシステムについて考えると、目まぐるしい程に変化してきましたが、今も「未だ道半ば」との思いが残ります。これからも皆様と様々な情報を交換してさらに前へ進みたいと、心を新たにすこの頃です。

本年度6回目となるELN研究会は、下記のとおり、来る5月29日（木）に東京で開催することとしました。昨年はベンダープレゼンテーションを再開しましたが、参加者より好評をいただきましたので、昨年に引き続きベンダープレゼンテーションの場を午前中に設けることにしました。これから導入あるいは展開を考えている方には参考としていただけると存じます。一方で昨年同様、分科会形式でのセッションを午前中に並行開催することとしました。本年は「バイオELNを考える」をテーマとしております。今後、化学系以外へのELN展開をお考えの方には参考としていただけると存じます。

午後の部では、今回のメインテーマ「電子ノートによる効率化とは？」に沿った内容にて、ELNユーザーの方1名に講演をお願いしております。また、本年は新たな試みとして、参加者によるグループディスカッションを行います。ディスカッションを通じて、ELN運用に関する情報交換を積極的にしていただければと思います。

皆様、ご多忙とは存じますが万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。なお、準備の関係上、参加申し込み(Email)は別記様式に従い、5月23日（金）までに事務局までお送りいただけますよう、よろしくお願い致します。

参加申し込み時には、午前の部の分科会出席予定をご記入ください。よろしくご協力のほどをお願いいたします。

記

第6回ELN研究会開催の案内

日時：2014年5月29日（木）開場T9：30～

会場：CTC ライフサイエンス株式会社 霞ヶ関セミナールーム

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル 20階受付

地図：<http://www.ctc-g.co.jp/about/corporate/access/kasumigaseki.html>

参加費： ¥2,000

第6回 ELN 研究会 プログラム

午前の部：開会 T10:00～T12:00 （受付 T9:30～）

分科会 A：ベンダーによるシステム紹介プレゼンテーション

1社あたり約20分の持ち時間で紹介と質疑応答

発表予定システム名（順不同）と代理店 詳細は別記

NuGenesis 8（日本ウォーターズ株式会社）

IDBS 社 E-WorkBook（CTC ライフサイエンス株式会社）

パーキンエルマーE-Notebook 反応条件検討用モジュール（パーキンエルマー/富士通）

OpenLAB ELN（アジレント・テクノロジー株式会社）

Accelrys ELN（アクセルリス(株)/CTC ライフサイエンス(株)）

分科会 B：バイオ ELN を考える

第一三共株式会社 塚本 晋策 様よりプレゼンテーション

その後参加者による自由討論

進行：ELN 研究会幹事

午後の部：開会 T13:15～ （午後の部からの参加者受付 T12:30～）

メインテーマ：電子ノートによる効率化とは？

講演：T13:20～13:50

「宇部興産における ELN 導入経緯（七難八苦を与え下さるな）」

演者：宇部興産株式会社 山本 和義 様

グループディスカッション：T13:50～15:50（途中休憩あり）

グループディスカッションに向けての問題提議：T13:50～14:20

演者：アスピオファーマ株式会社 島本 哲男 様

グループディスカッション：T14:45～15:50

進行：ELN 研究会幹事

総合討論：T16:00～17:20

懇親会：T18:00～20:00

研究会終了後、参加者各位との懇親会を予定しております。参加を希望される場合はあわせて事務局までご連絡ください。会場などの詳細は、当日案内いたします。

なお、懇親会費として¥3,000（実費）程度を徴収いたします。

以上

別記1 参加申し込み

研究会へ参加されます方は、以下の e-Mail を事務局までお送りください。

+++++++<ここから>+++++++

あて先：ddif-office@cac.co.jp

メール件名：「第6回 ELN 研究会」

お名前（ふりがな）：（ ）

会社名：

ご所属：

お役職：

電話番号：

E-mail：

午前の部で参加する分科会：（いずれかを消してご送信ください）

分科会 A：ベンダーによるシステム紹介プレゼンテーション

分科会 B：バイオ ELN を考える

懇親会：参加／不参加

別記2 ベンダーによるシステム紹介 5 件（発表順は未定）

① NuGenesis 8

発表社名：日本ウォーターズ株式会社

発表の概要：NuGenesis 8 は次の機能を持つモジュールから成る包括的なラボのデータ管理システムです。

SDMS：電子的なデータファイルと印刷イメージを取り込み、インデックス化し、二次利用を容易にするデータリポジトリ

ELN：創薬から品質管理までのワークフローをカバーする電子実験ノート

Paradigm：SDMS や ELN に登録された文字列、スペクトルやクロマトグラムの形状、グラフィックの形状、構造式、反応式で検索できる検索エンジン

② IDBS 社 E-WorkBook

発表社名：CTC ライフサイエンス株式会社

発表の概要：IDBS 社 E-WorkBook のグローバルでの利用状況や生物系実験ノートの導入におけるポイントや課題、解決方法について、また最新の製品機能をご紹介致します。

③パーキンエルマーE-Notebook 反応条件検討用モジュール

発表社名：(株) パーキンエルマー ジャパン

発表の概要：パーキンエルマーE-Notebook の反応条件検討用の新しいモジュールについて反応条件検討を行う際、同じ反応で触媒の種類・量、溶媒の種類等の反応条件を振って実験を行うようなプロセス化学等で有用なモジュールです。

本モジュールは条件検討項目をウィザード形式で入力、検討項目のサマリー表と個別の反応入力のセクションを自動生成することで効率的に実験ノートを記述できます。

④OpenLAB ELN

発表社名：アジレント・テクノロジー株式会社

発表の概要：OpenLAB ELN は、広く研究分野を超えて情報を共有するツールとして様々な分野の期間や企業で導入をいただいております。

Web ベースクライアントの特長は、操作性の良さだけでなく、国や大陸をまたぐような離れたサイト間での利用が可能です。

今回の分科会のテーマにあげられました、バイオ関連の用途に関しても、バイオ関連企業での海外の導入事例をふまえてご紹介させていただきます。

⑤Accelrys ELN

発表社名：アクセルリス(株)/CTC ライフサイエンス(株)

発表の概要：Biologist 向け電子実験ノートとして Accelrys 社が提供する AccelrysELN と周辺ソリューションを過去の導入プロジェクトの経験で得た課題点やその解決策の内容も含めて紹介いたします。

以上